

DRV-EM3700

デジタルルームミラー型

ドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

もしものときは！！

必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように**本機の電源をオフにして**microSDカードを取り出してください。(→ P.24)

microSDカードを本機に挿入する前にP.13の「microSDカードについて」をお読みください。

My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

本書の見かた	3	フロントとバックカメラ映像	
ドライブレコーダー機能ガイド	4	を切り替える	26
録画機能について	4	録画する・写真を撮影する	27
音声コマンド機能について	5	常時録画	27
SDメンテナンスフリー機能について	5	イベント記録	28
安全上のご注意（必ずお読みください）	6	駐車録画	30
内蔵電池について	7	写真を撮影する（静止画記録）	31
取り付けや配線について	8	音声コマンドを使用する	33
使用方法について	10	音声コマンド	33
異常時の問い合わせ	11	再生する	34
使用上のご注意	12	再生画面のアイコン	34
取り付けについて	12	ファイルを再生する	34
ご使用について	12	設定を変更する	35
電源について	12	各機能を設定する	35
内蔵バッテリーについて	12	メニューの一覧	36
衛星受信について	12	フォルダ / ファイル構成	39
本機のお手入れ	12	パソコンツールを使う	40
microSD カードについて	13	インストールする	40
本機で使用する microSD カード	13	録画ファイルの再生	40
当社推奨 microSD カード	13	故障かな？と思ったら	41
microSD カード使用上のご注意	13	共通	41
ファイルについてのご注意	13	駐車録画	42
各部の名称とはたらき	14	イベント記録	43
メインユニット	14	表示メッセージ	44
バックカメラ（後方撮影用）	15	KENWOOD MIRA-RECO VIEWER	45
LCD画面の操作	16	その他	45
LCD画面に表示されるアイコンにつ		付録	46
いて	16	モニター画面について	46
取り付け / 配線のしかた	18	商標について	46
取り付け時のご注意	18	ソフトウェアについて	46
メインユニットを取り付ける	18	主な仕様	51
バックカメラを取り付ける	19	保証とアフターサービス	53
接続する	20	交通事故時ドライブレコーダー買替	
推奨取り付け位置	22	補償金制度	54
ご使用の前に	24	MEMO	55
電源をオン / オフする	24		
microSD カードを入れる / 取り出す	24		
microSD カードをフォーマットする	25		

本書の見かた

表記	説明
(→ P.34)	本書の参照するページを表しています。
「駐車モード設定」	本機に表示される設定メニューの項目名を表しています。
[]	本機に表示されるアイコンを表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。
つづく	説明が次のページに続いていることを表しています。 右ページのみに表示します。

- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。
実際と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアのアップデート情報などについては、
当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/support/car/>
をご覧ください。

付属品

バックカメラ
(ブラケット付き) x1



シガープラグコード
(3.5m) x1



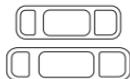
バックカメラ用ケーブル
(8.0m) x1



GPSアンテナ
ユニット (2.0m)



固定用バンド (短) x2
固定用バンド (長) x2



microSDカード
(32GB、アダプ
ター付きx1)



クリーナーx1



保証書x1



- microSDカードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- ご購入時、本機にmicroSDカード (32GB) が挿入されています。

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属のmicroSDカードにフロントカメラとバックカメラの映像および写真を記録保存します。必ずmicroSDカードを挿入してからお使いください。
ご購入時、本機にmicroSDカード（32GB）が挿入されています。
microSDカードの入れかたについてはP.24をご覧ください。

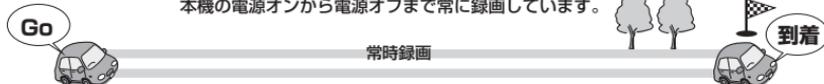
録画機能について

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり、常に録画を続けます（常時録画）。常時録画中に、車両に大きな衝撃が加わった場合は、その前後の映像を記録します（イベント記録）。

また、ドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR550（別売品）を使用しているときは、駐車中に大きな衝撃を検知すると、検知後の映像を録画します（駐車録画）。
イベント記録と駐車モードの衝撃検知はメインユニットのみで機能します。

常時録画（→ P.27）

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。



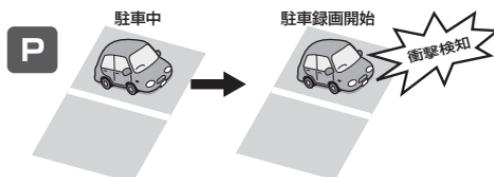
イベント記録（→ P.28）

本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント記録に切り替わり、イベント記録ファイルを「EMR」フォルダに保存します。



駐車録画（→ P.30）

ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550（別売品）が必要です。また、駐車録画を使う場合は「駐車モード設定」を「低」「中」「高」のいずれかに設定してください。（→ P.36）
・ 駐車中（エンジンまたはACCがオフの場合）に本機が監視を行い、衝撃を検知すると駐車録画を開始します。



■ イベント記録の手動録画

本機の [⊞] アイコンをタッチすると
イベント記録の手動録画を開始します。
手動録画が終了すると常時録画に戻ります。
(→ P.29)



■ 写真撮影（静止画記録）

録画中に本機の [📷] アイコンをタッチすると、写
真を撮影します。(→ P.31)



音声コマンド機能について

イベント記録（手動録画）、写真撮影、カメラ映像の切り替えの3つの機能は、コマンドを発話することで操作ができます。(→ P.33)

SDメンテナンスフリー機能について

本機はmicroSDカードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的なフォーマット（初期化）は不要です。ただし、付属のmicroSDカードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。

本機でフォーマットしていないmicroSDカード、また、PCなどでmicroSDカード内のファイルの変更や追加・削除されたmicroSDカードを本機に挿入すると、フォーマットが要求されます。必要なファイルが保存されている場合はPCなどに保存してからフォーマットを実行してください。

安全上のご注意（必ずお読みください）

■ 本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

● 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

危険



本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

取り付けや配線について



警告



本機は DC12V⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品や microSD カードは乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、
ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する

付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。
火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する

ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

⚠ 注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたり使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加ったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

取り付けについて

- 誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け / 配線の方へ」を参照して本機を正しく取り付けてください。(→ P.18)

ご使用について

- もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画した microSD カードの映像を本機またはビューアソフト「KENWOOD MIRA-RECO VIEWER」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。
- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- 車両のフロントガラス / リアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機にある RESET ボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。(→ P.14)
- LED 信号機の色が認識できなかったり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、あらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。

電源について

- 本機の動作電源電圧は DC5V です。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550 (別売品) を使用し、取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造 (バッテリーに直接つなぐ) などは絶対に行わないでください。

内蔵バッテリーについて

- 本機は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。
- 購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。時刻がリセットされるときは、本機の電源を 1~2 時間オンにして充電してください。

衛星受信について

- GPS は、GPS の性能について全責任を負う、米国政府によって運営されています。
- 衛星信号は、固体物質 (ガラスを除く) を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物 (例えば、樹木、高架橋または高層ビル) などの影響を受ける可能性があります。
- GPS アンテナユニットに塗装やシールの貼り付けなどをしないでください。衛星信号の受信性能が落ち、十分な機能を発揮しなくなります。
- GPS アンテナユニットは、各車載機器及び各アンテナからなるべく離して設置してください。近くに取り付けると GPS アンテナユニットが正常に機能せず、電波受信に影響したり、本機もしくは各車載機器が誤動作を起こす原因になる場合があります。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。
- ご使用前にバックカメラのブラケットの接着面がはがれていないか、また、ネジの緩みなどが無いことを確認してからご使用ください。

microSDカードについて

本機で使用する microSD カード

- ・本機で使用できるのは下記の microSD カードです。

容量	16GB～128GB
スピードクラス	Class 10 以上推奨

- ・ご購入時、本機にはmicroSDカード（32GB）が挿入されています。
- ・すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。

当社推奨 microSD カード

- ・ケンウッド製microSDメモリーカード（別売品）。詳細は以下をご覧ください。
<https://www.kenwood.com/jp/car/option/>

microSD カード使用上のご注意

- ・市販の microSD カードを使用するときは、microSD カードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- ・16GB 未満の microSD カードを使用する場合、記録が残らない場合があります。
- ・microSD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しい microSD カードと交換することをお勧めします。
- ・microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- ・カメラなど、他の機器で microSD カードのフォーマットを行うと、本機で正常に動作しません。必ず microSD カードのフォーマット（初期化）は本機で行ってください。フォーマットできない microSD カードは使用できません。
- ・本機のデータ読み取りおよび書き込み速度は、microSD カードの仕様によって異なります。
- ・分解や改造を行わないでください。
- ・microSD カードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。

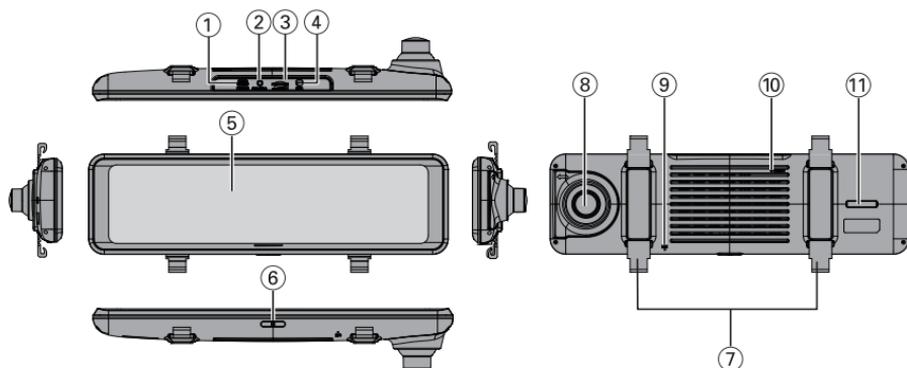
- ・microSD カードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- ・データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中に microSD カードを取り出さないでください。
- ・microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- ・必要なファイルは必ずパソコンなどに保存（コピー）してください。
- ・microSD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・microSD カードを着脱するときは、microSD カードの向きを確認し折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えないでください。

ファイルについてのご注意

- ・microSD カード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存（コピー）してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・microSD カードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されます。必要な録画ファイルが保存されている場合はパソコン等に保存してからフォーマットしてください。
- ・本機での microSD カードのフォーマットやファイルの削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSD カード内のデータは完全に消去されません。
- ・廃棄 / 譲渡の際は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って microSD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・microSD カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

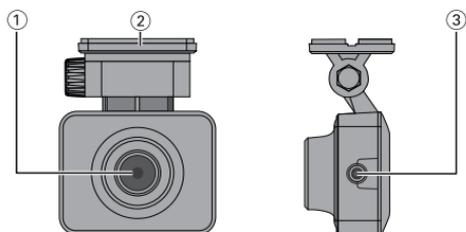
各部の名称とはたらき

メインユニット



番号	名称	はたらき
①	電源入力端子 (DC5V)	付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR550 (別売品) を接続します。
②	バックカメラ接続端子	付属のバックカメラケーブルを使って、バックカメラと接続します。(→ P.20)
③	microSD カードスロット	録画用の microSD カードを挿入します。(→ P.24) microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。
④	GPSアンテナユニット接続端子	付属のGPSアンテナユニットを接続します。
⑤	LCD 画面	タッチすると操作メニューを表示します。(→ P.16)
⑥	電源ボタン	電源オンのときに押すと、画面表示がオフになり、もう1度押すと画面表示がオンになります。3秒以上押し続けると本機の電源がオフになります。
⑦	フック	純正ルームミラーに取り付ける際に、固定用バンドを取り付けます。
⑧	フロントカメラ	車両前方の映像を広角レンズで撮影します。フロントカメラ部は横にスライド、レンズ部は上下左右に可動します。
⑨	マイク	録画中の音声及び、音声コマンド機能の発話を收音します。マイクをオフにしても音声コマンド機能は有効です。
⑩	RESET ボタン	本機をリセット (再起動) します。 RESET ボタンを押しても、設定や録画・記録したファイルは消去されません。
⑪	スピーカー	操作音、警告音、ファイル再生時の音声を出力します。 音量の設定については、LCD画面の左側をタッチし、上下方向にフリックすることで調整できます。(→ P.16)

バックカメラ（後方撮影用）



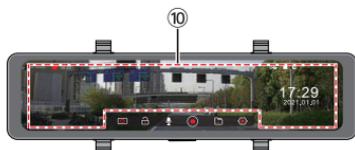
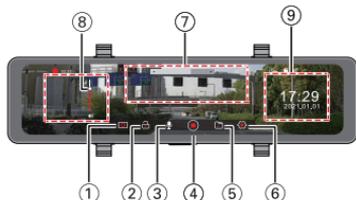
番号	名称	はたらき
①	カメラレンズ	映像を広角レンズで撮影します。
②	取付ブラケット	お買い上げ時、取付ブラケットはセットされています。(→ P.19)
③	メインユニット接続端子	付属のバックカメラケーブルを使ってメインユニットと接続します。(→ P.20)

LCD画面の操作

LCD画面をタッチすると操作メニューが表示されます。
操作メニューは約10秒間操作をしないと消えます。

LCD画面に表示されるアイコンについて

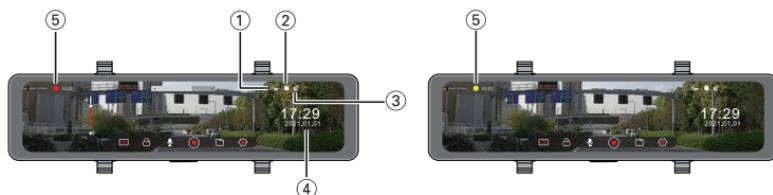
■ 操作メニューアイコン



番号	表示	アイコン	説明
①	写真撮影		録画中にタッチするとフロントカメラとバックカメラの映像を撮影します。録画停止中は写真撮影できません。
②	イベント記録の手動録画		常時録画中または録画停止中にタッチすると手動録画を開始します。
③	マイク		マイクをオン/オフします。
④	録画		録画を開始/停止します。
⑤	再生モード		タッチすると、再生モードの画面に入ります。再生モードの画面に入る前に録画を一度停止する必要があります。
⑥	設定メニュー		設定メニュー画面に切り替わります。設定メニュー画面に切り替えるためには録画を一度停止する必要があります。
⑦	明るさ調整		LCD画面の中央上付近を左右にフリック操作すると、画面の明るさを調整できます。
⑧	音量調整		LCD画面の左側付近を上下にフリック操作すると、操作音、警告音、ファイル再生時の音量を調整できます。
⑨	画面表示エリア調整		LCD画面の右側付近を上下にフリック操作すると、カメラ映像の表示エリアを調整できます。フロントカメラとバックカメラの両方のカメラ表示中はエリア調整できません。
⑩	画面表示切り替え		操作メニュー表示中にLCD画面をタッチすると表示されている映像が切り替わります。

・⑦明るさ調整や、⑧音量調整を行う場合、調整用のバーが表示されるまで画面に触れたままでフリック操作をします。画面にタッチしてすぐに離すと調整用のバーが表示されず、調整できません。

■ 表示メニューアイコン



番号	表示	アイコン	説明
①	駐車モード	   	駐車モードのオンまたはオフの状態と衝撃感度状態（「低」、「中」、「高」）を表示します。
②	microSDカード	 	microSDカードの挿入/未挿入の状態を表示します。
③	GPS	   	GPSの受信状態を表示します。
④	日付と時刻	17:29 <small>2021.01.01</small>	日付と時刻を表示します。
⑤	録画アイコン	 	常時録画中は、赤アイコンが点滅します。イベント記録画中、手動録画中、駐車録画中は、黄色のアイコンが点滅します。

取り付け / 配線のしかた

取り付け時のご注意

メインユニット / バックカメラ共通

- ・メインユニットを純正ミラーに取り付ける前に、純正ミラーの可動部が少しの力を加えただけで動いてしまうことがないか確認してください。少しの力を加えただけで動いてしまう場合は、純正ミラーの可動部に異常などがないか確認してください。
- ・車両のフロントガラス / リアガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えにくくなり、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- ・取り付け後、車両電装品が正常に働くか、必ず動作確認を行ってください。
- ・取り付け後、カメラレンズの保護シートをはがしてください。
- ・ケーブル類は運転操作の妨げにならないようにソフトテープなどでまとめてください。
- ・ラジオアンテナの近くに取り付けおよび配線をしないでください。ラジオの受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。
- ・本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。

メインユニット

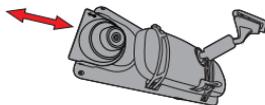
- ・車両進行方向にカメラを向けて取り付けてください。
- ・本機の電源をオフした時に本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故等の原因になります。
- ・メインユニットを純正ミラーに取り付ける前に、純正ミラーの可動部が少しの力を加えただけで動いてしまうことがないか確認してください。弱い力を加えただけで動いてしまう場合は、純正ミラーの可動部に異常などがないか確認してください。

バックカメラ

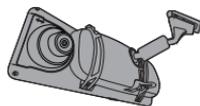
- ・直接リアガラスに取り付けてください。
- ・リアガラスに熱線がある場合は、熱線避けて取付ブラケットの接着面を貼り付けてください。
- ・ワイパーが装着されている場合、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見つづらくなることがあります。

メインユニットを取り付ける

1. 水平で安全な場所に車両を駐車する
2. 純正ルームミラーへの固定位置を決め、必要に応じてレンズの位置をスライドして調整する



3. メインユニットを純正ルームミラーにあてがい、付属の固定用バンドをメインユニット上下のフックに引っ掛けて固定する

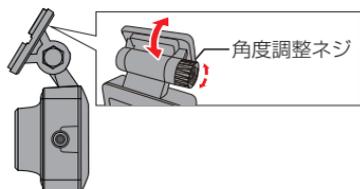


4. フロントカメラの向きを調整する (→P.21)

バックカメラを取り付ける

1. リアガラスに貼り付ける前に角度調整ネジを緩めて、大まかな角度調整を行う

角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。

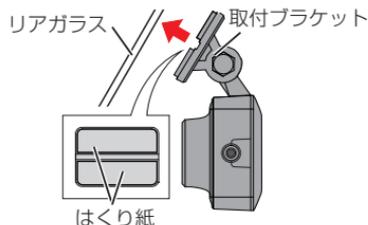


2. バックカメラの推奨取り付け位置(→ P.23)を参考にしてバックカメラの取り付け位置を決める

3. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに抜き取る

4. 取付ブラケットから両面テープのはくり紙をはがし、リアガラスに押しつけて貼り付ける

バックカメラ用の取付ブラケットは、取り付け後に上下方向の角度調整はできませんが、左右方向の角度調整はできませんので注意してください。

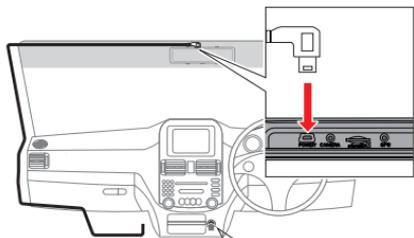


- ・熱線に両面テープを貼り付けないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
- ・粘着テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- ・リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。
- ・ガラスに貼り付け直すと粘着テープの接着強度が落ちます。貼り付け直すことがないように貼り付け位置を事前に確認してください。

取り付け / 配線のしかた

接続する

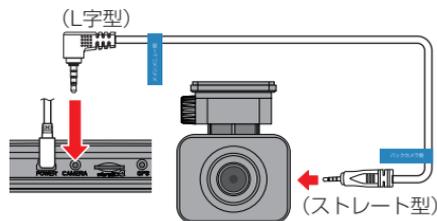
1. 付属のシガープラグコードをアクセサリーソケットとメインユニットに接続して、配線する



エンジンスイッチを「オン」にすると、緑色に点灯します。

シガープラグには12Vから5Vに変換する回路が内蔵されています。シガープラグの改造、加工は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2. 付属のバックカメラ用ケーブルでバックカメラとメインユニットを接続し、配線する(→P.23)

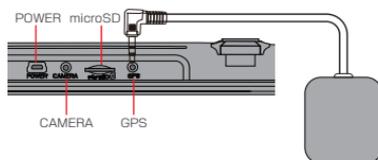


メインユニット バックカメラ

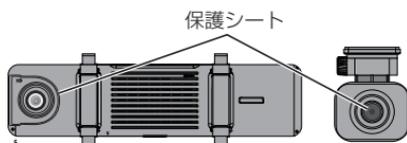


バックカメラ用ケーブルは金属の部分が見えないように最後まで押し込んでください。

3. GPSアンテナユニットをメインユニットに接続します(→P.22)



4. エンジンスイッチを「オン」にする



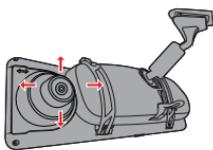
5. カメラレンズの保護シートをはがす
6. LCD画面をタッチして、フロントとバックカメラの2カメラ映像に切り替える(→P.26)

7. フロントカメラの角度（向き）を調整する

地上と空の比率が約 2 対 1 になることを推奨します。



*写真はイメージです



*写真はイメージです

8. 画面を見ながら、バックカメラの取り付け角度（向き）を再調整する

地上と空の比率が約 2 対 1 になることを推奨します。



*写真はイメージです



*写真はイメージです

9. フロントカメラの画像位置を合わせます

LCD画面をタッチしてフロントカメラの画像を表示させ、LCD画面の右側を上下にフリックし表示したい位置に合わせます。(→ P.16)

10. バックカメラの画像位置を合わせます

LCD画面をタッチしてバックカメラの画像を表示させ、LCD画面の右側を上下にフリックし表示したい位置に合わせます。(→ P.16)

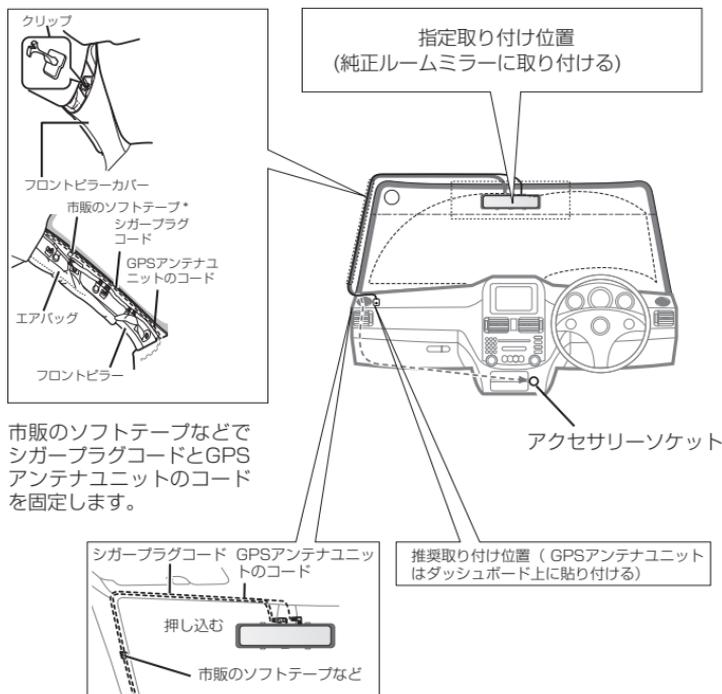


- お買い上げ時は「バックミラー」の設定はオンになっています。このため、バックカメラ以外の映像にした場合、10秒後にバックカメラの映像に切り替わります。(→ P.37)
- 角度(向き)を調整する際には、設定メニュー画面の録画設定で「バックミラー」をオフにすると、調整中にバックカメラの映像に切り替わらなくすることができます。
- 調整終了後は、「バックミラー」の設定はオンにすることをお勧めします。

推奨取り付け位置

メインユニットとGPSアンテナユニット

シガープラグコードとGPSアンテナユニットのコードの引き回しを行ってください。



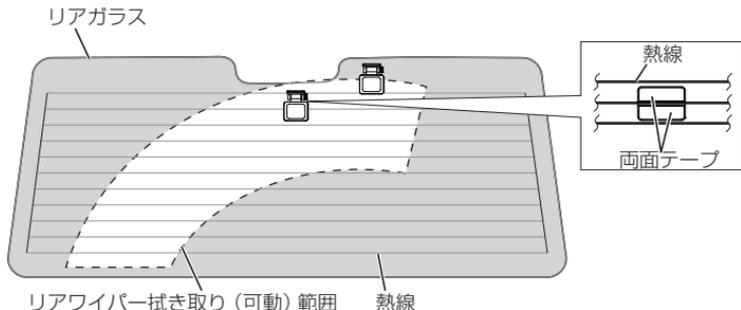
市販のソフトテープなどでシガープラグコードとGPSアンテナユニットのコードを固定します。

- 国土交通省の定める保安基準* に適合するように取り付けてください。
*保安基準：道路運送車両の保安基準第29条（窓ガラス）
- ケーブル・コード類は運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して取り付けてください。
 - フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
 - ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
 - 地デジやETC等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
 - ケーブル・コードの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。

取り付け/配線のしかた

■ バックカメラ

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。取付ブラケットに貼られている両面テープには、熱線避けるために隙間が設けられています。

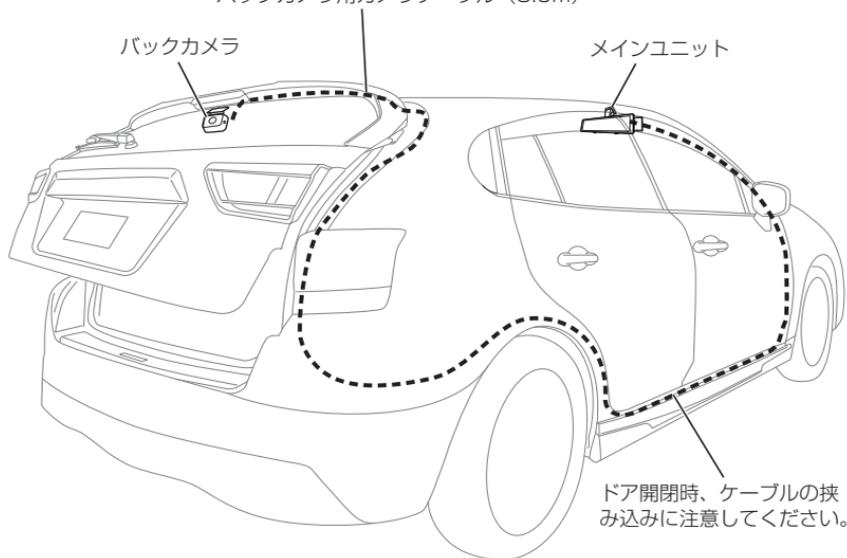


- リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

● ケーブルの引き回し例

ケーブルを引き回すときは、(→ P.22)の注意事項もご覧ください。

バックカメラ用カメラケーブル (8.0m)



ご使用の前に

ご使用の前に、角度調整ネジの緩み、両面テープのはがれなどが無いが、定期的に点検を行ってください。

運転の妨げや事故の原因となることがあります。

電源をオン / オフする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。エンジンスイッチを「オフ」にすると電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオフにする

本機の電源がオンのときに電源ボタンを3秒以上押し続けると、電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオンにする

本機の電源がオフのときに電源ボタンを一回押すと、電源がオンになります。



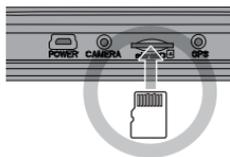
- エンジンまたはACCがオフ中に本機の電源ボタンで電源をオンにすることはできません。

microSD カードを入れる / 取り出す

microSD カードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、microSD カードと通信をしていないメニュー表示中や電源オフ中に行ってください。

● microSD カードを入れる

microSD カードを microSD カードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



「microSDカードの端子面を上図の向きで挿入する」

● 間違った入れかた



斜めに挿入
しない

端子面を
下にしない

向きを間違えない



- microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

● microSD カードを取り出す

microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出したら引き抜きます。



- 電源オン状態で microSD カードを取り出した場合、「SDカードが入っていません」と表示されます。
- 再度、microSD カードを挿入した場合、「まもなく再起動します」と表示され、本機は再起動します。

ご使用の前に

microSD カードをフォーマットする

本機でフォーマットしていないmicroSDカードを挿入すると「SDカードをフォーマットしてください!」というメッセージが表示されるので、本機でフォーマットを行ってください。

フォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されます。必要なファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。

1. microSDカードスロットに挿入する

2. 本機でフォーマットしていないmicroSDカードを挿入すると、「SDカードをフォーマットしてください!」が表示されます。



3. 「実行」をタッチします。



4. 「SDカードをフォーマットしました。」が表示されます。「確認」をタッチします。



- フォーマットの時間はmicroSDカードの容量で異なります。32GB microSDカードの場合は、約50秒かかります。
- 手動でmicroSDカードをフォーマットする場合、設定メニュー中の「システム設定」の「SDカードフォーマット」からフォーマットすることができます。

フロントとバックカメラ映像を切り替える

LCD画面に表示される映像を切り替えることができます。

お買い上げ時の設定メニュー画面の録画設定は「バックミラー」がオンになっています。電源をオンにすると、バックカメラの映像が表示されます。操作メニュー表示中にLCD画面をタッチするたびに映像は右記の順番で切り替わります。

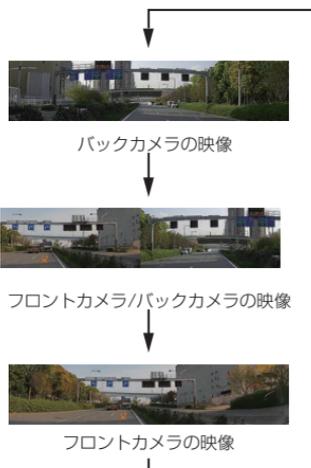
設定メニュー画面の録画設定での「バックミラー」をオフにすると、現在表示されている映像が電源オン時にも表示されます。

バックカメラの映像について

- ・録画時：左右反転している鏡像（バックミラーと同じ）になります。
- ・再生時：正像で再生します。



- ・設定メニュー画面の録画設定で「バックミラー」をオンにすると、LCD画面の表示をバックカメラ以外の映像にした場合、10秒後にバックカメラの映像に切り替わります（→P.37）。



* 写真はイメージです。

録画する・写真を撮影する

本機には、「常時録画」、「イベント記録」、「イベント記録の手動録画」、「写真撮影」の録画機能があります。

エンジンまたはACCがオフの場合は「駐車録画」の機能があります（ドライブレコーダ専用車載電源ケーブルCA-DR550が必要で
す）。

録画中の音声記録のオンまたはオフ、[Q/Q]を設定することができます。

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画は1ファイルごとの録画時間に分割して録画します。microSDカードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。1ファイルごとの録画時間は1分です。

電源オン



録画アイコン(常時録画中、(赤色)が点滅します)



常時録画面

* 写真はイメージです。

録画ファイルの保存場所

常時録画のファイルは、microSDカード内の「Movie」フォルダに保存されます。(→ P.39)

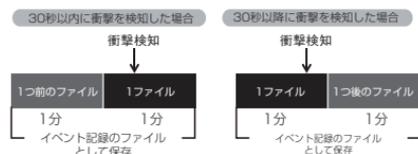
常時録画の解像度	1080p/28fps固定です。
常時録画の最大録画時間	microSDカード容量ごとの録画時間の目安については、(P.32)をご覧ください。

録画する・写真を撮影する

イベント記録

常時録画中の衝撃などを検知してイベントを記録します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。衝撃を検知した時点のファイル及び前または次のファイルをイベント記録ファイルとして保存します。（常時録画のファイルとしては残りません）。

ファイルごとの録画時間は最大1分です。イベント記録は手動で記録することもできます。



録画アイコン(イベント記録中、(黄色)が点滅します)



*写真はイメージです。

録画ファイルの保存場所

イベント記録のファイルは、microSDカード内の「EMR」フォルダに保存されます。(→P.39)



・イベント記録が終了する前に[●]アイコンをタッチすると、その時点でイベント記録を終了して録画を停止します。このとき、常時録画に戻るには[●]アイコンをタッチします。

・イベント記録が記録されたときは、上書きしないように本機の電源を「オフ」にしてmicroSDカードをすぐに抜いてください。

・録画停止中、あるいは電源をオンにして30秒以内にイベント記録を開始すると、1ファイル(1分)のみが保存されます。

・録画領域がなくなると、イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

・この場合、使用しているmicroSDカードの種類によっては容量が違いため、フロントカメラの映像だけ消去されリアカメラの映像ファイルが残ることがあります。ご使用する上での問題はありません。

・シガープラグコードを使用している場合にイベント録画中にエンジンまたはACCをオフにすると、録画ファイルは「Movie」フォルダに保存されます。

・イベント記録が記録されたときは、上書きしないように本機の電源を「オフ」にしてmicroSDカードをすぐに抜いてください。

衝撃を検知する感度

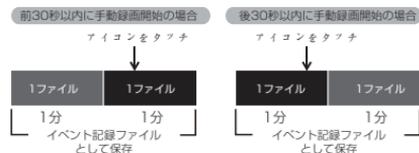
お買い上げ時は「レベル4」に設定されています。設定については「メインメニュー設定」の「イベント感度設定」をご覧ください。(→P.37)

録画する・写真を撮影する

イベント記録を手動で開始する(手動録画)

本機の[⊕]アイコンをタッチすると、イベント記録の手動録画を開始します(1分間)。手動録画中は、常時録画は記録されません。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。

ファイルの録画時間は最大1分です。



録画アイコン(イベント記録中、(黄色)が点滅します)



* 写真はイメージです。

録画ファイルの保存場所

イベント記録の手動録画ファイルは、microSDカード内の「EMR」フォルダに保存されます。(→P.39)



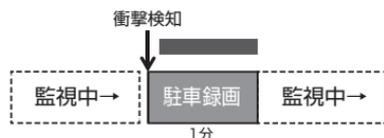
- 手動録画が終了する前に[●]アイコンをタッチすると、その時点でイベント記録を終了して録画を停止します。常時録画に戻るためには[●]アイコンをタッチしします。
- エンジンまたはACCがオフ中に本機の電源ボタンで電源をオンにすることはできません。
- 録画停止中、あるいは電源をオンにして30秒以内に手動録画を開始すると、1ファイル(1分)のみが保存されます。
- 録画領域がなくなると、イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。
- この場合、使用しているmicroSDカードの種類によっては容量が違うため、フロントカメラの映像だけ消去されリアカメラの映像ファイルが残ることがあります。ご使用する上での問題はありません。
- シガープラグコードを使用している場合にイベント録画中にエンジンまたはACCをオフにすると、録画ファイルは「Movie」フォルダに保存されます。
- イベント記録が記録されたときは、上書きしないように本機の電源を「オフ」にしてmicroSDカードをすぐに抜いてください。

録画する・写真を撮影する

駐車録画

駐車録画機能を使用する場合は、ドライバー用車載電源ケーブルCA-DR550（別売品）を接続する必要があります。詳細はCA-DR550の取扱説明書を参照してください。さらに、本機の「駐車モード設定」を「低」「中」「高」のいずれかに設定する必要があります。（→P.36）

エンジンまたはACCをオフにすると駐車モードの監視が始まります。駐車モードの監視中に衝撃を検知すると、駐車録画を開始します。駐車録画ファイルの録画時間は1分間（検知後の1分間）です。駐車録画が終了すると、再び監視を開始します。



* 写真はイメージです。

録画ファイルの保存場所

駐車録画のファイルは、microSD カード内の「EMR」フォルダに保存されます。（→P.39）

駐車録画が記録されたとき

駐車録画が記録された場合、エンジンまたはACCをオンにした時に「駐車録画があります」とLCD画面に表示されます。

- 衝撃を検知してから録画を開始するまでに約5秒かかります。
- 駐車録画が終了する前にさらに衝撃を検知しても駐車録画は延長しません。



- ドアを閉めたときの振動を検知して駐車録画が開始することがあります。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合、駐車録画は動作しないことがあります。
- 録画領域がなくなると、録画ファイルは古いファイルから上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。
- この場合、使用しているmicroSDカードの種類によっては容量が違うため、フロントカメラの映像だけ消去されリアカメラの映像ファイルが残ることがあります。ご使用する上で問題はありません。
- 駐車監視ケーブルを使用している場合、エンジンまたはACCのオフ中に本機の電源ボタンで電源をオンすることはできません。
- エンジンまたはACCをオフにする前に本機の電源ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。
- 駐車録画中に、本機の電源ボタンで電源をオフにすると、駐車録画を停止し、駐車モードの監視を終了します（以降、衝撃を受けても駐車録画は動作しません）。
- 駐車モードの監視中にドライバー用車載電源ケーブルを抜き差しすると、駐車モードの監視を終了します。駐車モードの監視を始めるためには、一度エンジンまたはACCをオンにしてから再度オフにする必要があります。

衝撃を検知する感度	お買い上げ時は「オフ」に設定されています。設定については「メインメニュー設定」の「駐車モード設定」をご覧ください。（→P.36）
-----------	--

録画する・写真を撮影する

写真を撮影する（静止画記録）

録画中に [📷] アイコンをタッチすると、フロントカメラとバックカメラの映像を同時に撮影します。

録画停止中は撮影できません。録画停止中に「📷」アイコンをタッチすると、「録画を開始してから写真を撮影してください」と表示されます。

記録領域がなくなると、古いファイルから自動で上書きされます。



写真の保存場所

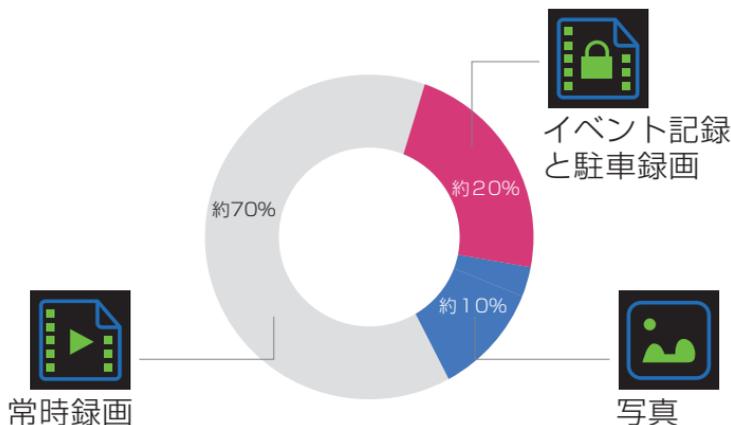
写真は、microSD カード内の「Photo」フォルダに保存されます。（→ P.39）



- 録画中に写真を撮影しても録画は中断されません。
- 写真の解像度は1920×1080固定です。

録画する・写真を撮影する

● 記憶域の割り当て



● 録画時間の目安

記録時間はフロントカメラとバックカメラで同時に撮影したときの時間です。

microSD カード容量	常時録画	イベント記録/手動録画 /駐車録画 (合計)	写真
16GB	約 62分	約 17分	約 150枚
32GB	約 124分	約 35分	約 301枚
64GB	約 248分	約 70分	約 602枚
128GB	約 502分	約 143分	約 1219枚

音声コマンドを使用する

イベント記録（手動録画）、写真撮影、カメラ映像の切り替えの3つの機能は、コマンドを発話することで操作ができます。

音声コマンド

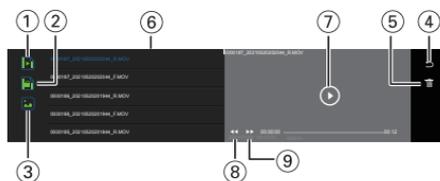
操作	音声
イベント記録（手動録画）	イベント記録開始
写真撮影（静止画記録）	写真を撮ります
カメラ映像の切り替え （フロントカメラの映像）	フロントカメラ
カメラ映像の切り替え （バックカメラの映像）	バックカメラ
カメラ映像の切り替え （フロントカメラ/バック カメラの映像）	すべてのカメラ



.....
・発音や周辺の騒音状況などによっては、動作しないことがあります。
.....

再生する

再生画面のアイコン



番号	アイコン	説明
①		常時録画ファイルのリストが表示されます。
②		イベント記録、手動録画及び駐車録画のファイルのリストが表示されます。
③		撮影された写真（静止画記録）のファイルリストが表示されます。
④		常時録画モードに戻ります。
⑤		ファイルを削除します。
⑥		ファイルリストを上下にフリックしてスクロールします。
⑦		ファイルを再生または一時停止します。
⑧		2/4/8倍速度で早戻しします。
⑨		2/4/8倍速度で早送りします。

ファイルを再生する

録画ファイルや写真ファイルなどのファイルを選択して再生します。

1. LCD画面をタッチして、操作メニューアイコンを表示させます。



2. アイコンをタッチして、録画を停止させます。

3. 録画停止状態で、アイコンをタッチすると再生モードの画面が表示されます。

4. アイコンをタッチして、再生または表示させたいファイルのフォルダを選択します。



5. リストからファイルを選択してタッチすると、保存されたファイルの画像が表示されます。



6. アイコンをタッチすると再生を開始します。



- ファイルは録画または撮影した時間順に並びます、ファイル名にFのあるものはフロントカメラ映像で、Rのあるものはバックカメラの映像です。
- 再生時のバックカメラ映像は、録画中の画面表示と異なり、正像で再生されます。

設定を変更する

各機能を設定する

本機の設定を変更することができます。

1. LCD画面をタッチして、操作メニューアイコンを表示させます。



2. [●]アイコンをタッチして、録画を停止させます。
3. 録画停止状態で、[⊗]アイコンをタッチすると、設定メニュー画面が表示されます。



4. [メインメニュー設定]、[録画設定]、[システム設定]をタッチします。



5. 設定を変更したい項目をタッチすると、選択できる項目が表示されます。



6. 設定したい項目をタッチすると、設定が変更されます。

各項目の内容については、「メニューの一覧」を参照してください。(→ P.36)



- ・ 常時録画に戻る場合は、左右の空白部分をタッチします



メニューの一覧

■ メインメニュー設定

*お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
駐車モード設定	オフ* 低 中 高	「駐車モード」の時に本機に加わる衝撃の感度：「低」（G値：0.4G）～「高」（G値：0.2G）を設定します。感度を設定すると、駐車モードがオンになります。 本機専用のドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR550を使用する必要があります。エンジンまたはACCをオンにしてから駐車モード設定を変更してください。
LCD表示時間設定	オフ* 1分 3分 5分	画面表示が自動オフになるまでの時間を設定します。設定時間になると、LCD画面がオフになり、ルームミラーとして使用できません。ドライブレコーダー機能は続けて作動します。画面を表示させたい時には、LCD画面をタッチするまたは電源ボタンを短く押します。
操作音	オフ オン*	LCD画面操作時の操作音を設定します。LCD画面にある音量調整アイコンを一番下にフリックすると、操作音も同時にミュートになります。
距離単位	メートル* マイル	速度の単位を設定します。
時計表示	オン* オフ	LCD画面上の日時の表示のオン/オフを設定できます。オフを選択した場合、LCD画面をタッチすると日時が10秒間表示されます。
言語	日本語* ENGLISH	本機の表示言語を設定します。
情報記録設定	日付/時刻  * 緯度/経度  * 速度  *	録画ファイルに記録する情報を設定します。各項目毎に、記録オン/オフを設定できます。
日付/時刻設定	—	日付と時刻を手動で設定できます。[<]、[>]アイコンで項目を選択、[^]、[v]アイコンで数値を変更して、[✓]アイコンで確定します。GPS信号を受信すると日付/時刻は自動で設定されます。
タイムゾーン設定	—	タイムゾーンはUTC/GMT+9固定です。
リフレッシュ通知	オフ 1時間 2時間* 4時間*	電源オンから設定した時間ごとに通知音が鳴り、LCD画面にメッセージ「長時間の運転が続いています。そろそろ休憩しませんか？」が表示されません。

設定を変更する

イベント感度設定	レベル1 (感度低い) レベル2 レベル3 レベル4* レベル5 レベル6 (感度高い)	イベント感度の設定値は、レベル1 (約1.4G) ~ レベル6 (約0.4G) です。 デフォルト (初期設定値) は、「レベル4」です。
音声コマンド	 *	音声コマンド (→P.33) のオン/オフを設定します。

■ 録画設定

項目	設定	説明
解像度設定	—	解像度は、「1080P/28fps」固定です。
WDR	 *	明暗差が大きなシーンで白飛びや黒つぶれを軽減します。
バックミラー	 *	LCD 画面の表示を設定する機能です。 オンにすると、次回電源をオンにした時、LCD画面にはバックカメラの映像が表示されます。 また、LCD 画面の表示がバックカメラ以外の映像の場合、10 秒後にバックカメラの映像に切り替わります。 オフにすると、次回電源をオンにした時に、電源オフ前に設定されたLCD 画面が表示され、その画面のままになります。

■ システム設定

項目	設定	説明
衛星受信状態	—	衛星信号の受信状態を表示します。
SDカードフォーマット	—	microSDカードを初期化して、全てのファイルを消去します。 必要な録画ファイルが保存されている場合はパソコン等に保存してから操作してください。
初期値に戻す	—	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
バージョン	—	本機の製品名とファームウェアのバージョンを表示します。

LCD表示時間の設定を変更する

LCD表示時間の設定は「オフ」「1分」「3分」「5分」の4つから選択できます。

お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

1. LCD画面をタッチして、操作メニューアイコンを表示させます。



2. [●]アイコンをタッチして録画を停止させます。

3. 録画停止状態で、[●]アイコンをタッチすると、メインメニュー設定の画面が表示されます。

4. 「LCD表示時間設定」を選択します



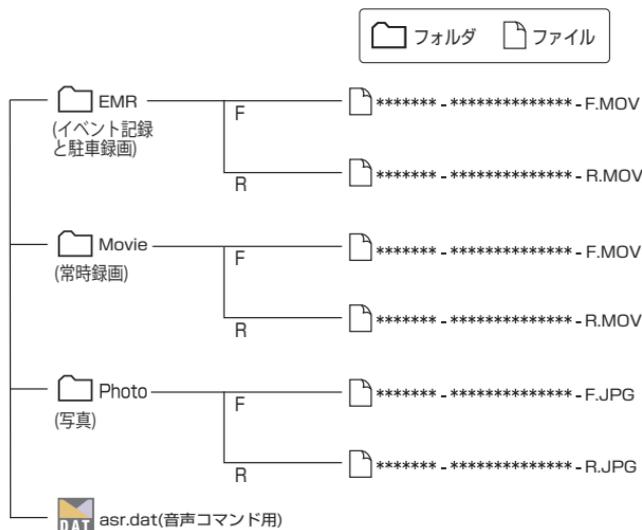
5. 設定したい時間を選択します。



- 設定した時間内に、LCDを操作しなかった場合、LCD画面が消灯します。LCD画面を表示させたい場合は、本機のLCD部分をタッチするか、電源ボタンを押します。衝撃検知でLCD画面が再表示されます。
- 「オフ」に設定すると、画面が常時表示となります。

フォルダ / ファイル構成

microSD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。本機や KENWOOD MIRA-RECO VIEWER で正しくファイルを再生できなくなります。



ファイル名は年・月・日・時・分の順に自動的に付けられます。

***** - ***** -
ファイル番号 年 月 日 時 分 秒

● ファイル名の表記について

- ファイル名の「F」はフロントカメラで録画したファイルです。
- ファイル名の「R」はバックカメラで録画したファイルです。

パソコンツールを使う

ビューアソフト (KENWOOD MIRA-RECO VIEWER) は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。

インストールする

インストールする場合はパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。

1. <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>
で本機の型名を選んでインストーラーをダウンロードする
2. パソコンにインストールする

録画ファイルの再生

1. microSD カードを本機から取り出し、カードリーダー (市販品) を使用してパソコンに接続する
2. KENWOOD MIRA-RECO VIEWER を起動する



- KENWOOD MIRA-RECO VIEWERの使いかたについては、KENWOOD MIRA-RECO VIEWER の取扱説明書をご覧ください。
- MacのQuickTime Playerなどで再生するとmicroSDカード内のファイル構成が変更されてしまうため、そのmicroSDカードを本機に挿入するとフォーマットを要求されます。必要なファイルが保存されている場合は、本機にmicroSDカードを挿入する前にPCなどに保存してください。

故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

● FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

「故障かな？と思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>

共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/ シガープラグのインジケータ ーが点灯していない	本機に電源が供給されていない	シガープラグの差し込みと、本体の差し込みを確認してください。(→ P.20)
	シガープラグコードのヒューズが切れている	お買い上げの販売店にご相談ください。
	動作が不安定になっている	本体のRESETボタンを押してください。(→ P.14) それでも改善しない場合は、microSDカードのフォーマットを行ってください。(→ P.25)
microSDカードを認識しない	microSDカードスロットにmicroSDカードが入っていない	microSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。(→ P.24)
	本機で使用できないファイルシステムでフォーマットされたmicroSDカードが挿入された	FAT32でフォーマットされたmicroSDカードをご使用ください。
	microSDカードがフォーマットされていない	フォーマットを行ってからご使用ください。(→ P.25)
	microSDカードの読み込み/書き込みができなくなっている	microSDカードをフォーマットしてください。(→ P.25)
	フォーマットしてもmicroSDカードエラーが表示される	それでも症状が改善しない場合は、microSDカードを交換してください。
録画ファイルが見つからない	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた	必要な録画ファイルをパソコン等に保存し、本機でmicroSDカードをフォーマットしてから録画を開始してください。
	16GBより容量が少ないため録画ファイルを作成できない	容量が16GB~128GBのmicroSDカードをご使用ください。(→ P.13)
録画されたファイルの映像が鮮明でない	レンズが汚れている	柔らかい布などで乾拭きしてください。

故障かな?と思ったら

症状	原因	対処方法
バックカメラの映像に切り替わらない	・バックカメラが正しく接続されていない	・バックカメラの接続を確認してください。(→ P.20)
バックカメラの映像が記録されていない	・バックカメラ用ケーブルが車両内の配線途中で車両ボディなどにかみ込み断線している	・バックカメラケーブルの配線を確認してください。 ・バックカメラ用ケーブルは金属の部分が 見えないように最後まで押し込んでください。

駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR550を使用していない	本機の駐車録画機能を有効にするには別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR550が必要になります。
	CA-DR550のスイッチ設定が「オフ」に設定されている。	CA-DR550の取扱説明書を確認し、スイッチ設定を行ってください。
	「駐車モード設定」が「オフ」に設定されている	「駐車モード設定」で駐車モード時の衝撃の感度を設定してください。感度を設定すると、駐車モードがオンになります。(→ P.36)
	microSDカードが挿入されていない	microSDカードを挿入してください。
	エンジンまたはACCのオフを検知できない	ドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR550の配線に誤りがないか確認してください。
	本機の電源をオフにした	本機の電源はオンのままエンジンまたはACCをオフにしてください。
	駐車モードの監視中に電源ケーブルを抜き差ししたために、駐車モードの監視が終了した。	駐車モードの監視を始めるためには、一度エンジンまたはACCをオンにしてから再度エンジンまたはACCをオフにする必要があります。

故障かな?と思ったら

<p>別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR550のタイマー設定時間より前に録画が終わっている</p>	<p>車両のバッテリーの電圧が別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR550のバッテリー上がり防止設定値(電源カットオフ値設定)以下になった</p>	<p>別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR550のタイマー時間設定を短くするか、バッテリー上がり防止設定値を下げてください。最小値まで下げても症状が改善されない場合、車両バッテリーの電圧が設定値電圧より低い可能性があります。車両販売店でバッテリーの電圧を確認してください。</p>
--	---	---

イベント記録

症状	原因	対処方法
<p>車両に衝撃がないときにイベント記録している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント感度設定が適正に設定されていない ・ 急な坂道を走行している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 録画設定の「イベント感度設定」で衝撃検知の感度を下げてください。(→ P.37)
<p>録画ファイルが見つからない</p>	<p>録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント録画中にエンジンまたはACCをオフにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な録画ファイルをパソコンに保存してから、ご使用ください。 ・ シガープラグコードを使用している場合にイベント録画中にエンジンまたはACCをオフにすると、録画ファイルは「Movie」フォルダに保存されます。 ・ イベント記録が記録されたときは、上書きしないように本機の電源を「オフ」にしmicroSDカードをすぐに抜いてください。

故障かな?と思ったら

表示メッセージ

メッセージ	原因	対処方法
SDカードをフォーマットしてください!	microSDカードが認識できる形式でフォーマットされていない	「実行」をタッチして、フォーマットを行ってください。 (→P.25)
	PCなどでmicroSDカード内のファイルの変更や追加・削除を行った	「実行」をタッチして、フォーマットを行ってください。 (→P.25)
このSDカードは本機での使用には適していません。他のSDカードと交換してください。	書込速度の違いSDカードが使用されている	他のメーカーのSDカードと交換してください。 (→ P.13)
SDカードエラーです。フォーマットをお試しください。	認識できないmicroSDカードが挿入されている	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 (→P.25) フォーマットしても、同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードを入れてください。 (→ P.24)
SDカードが入っていません!	microSDカードを入れていない状態で電源をオンにした	microSDカードを入れてください。(→ P.24)
駐車録画があります。ファイル数:	電源オフ中に駐車録画が行われました	「実行」をタッチすると再生画面に入ります。「キャンセル」をタッチすると、常時録画に入ります。
長時間の運転が続いています。そろそろ休憩しませんか?	「リフレッシュ通知」をオフ以外に設定している場合、電源オンから設定時間ごとにメッセージが表示されます	メッセージは10秒後に消えます。
録画を一度停止してください。	録画中に[]または[]アイコンをタッチすると表示されます	[]アイコンをタッチして録画を停止してください。
バックカメラが接続されていません。	<ul style="list-style-type: none">・バックカメラが正しく接続されていない・バックカメラ用ケーブルが車両内の配線途中で車両ボディなどにかみ込み断線している	<ul style="list-style-type: none">・バックカメラの接続を確認してください。(→ P.20)・バックカメラケーブルの配線を確認してください。・バックカメラ用ケーブルは金属の部分が 見えないように最後まで押し込んでください。
録画を開始してから写真を撮影してください。	録画停止中に[]アイコンをタッチすると表示されます	[]アイコンをタッチして録画を開始してください。

故障かな?と思ったら

メッセージ	原因	対処方法
ドライブレコーダー用車載電源ケーブルを接続してください。	付属のシガープラグコードで使用しているときに「駐車モード設定」を実行した	駐車録画機能を使う場合は、ドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR550（別売品）が必要です。

KENWOOD MIRA-RECO VIEWER

症状	原因	対処方法
KENWOOD MIRA-RECO VIEWER が起動しない	管理者権限でのインストールをしていない	管理者権限でインストールしてご使用ください。(→ P.40)

その他

症状	原因	対処方法
純正ルームミラーが傾いてしまう	純正ルームミラーの角度調整部分が破損している	車両ディーラーにご相談ください。
	純正ルームミラーの角度調整のネジが緩んでいる	純正ルームミラーに調整ネジが付いている場合は調整ネジを締めて調整を行ってください。
ラジオにノイズが入る ラジオの受信感が悪い	車両側のラジオアンテコードやフィルムアンテナ付近に本機のケーブルを配線している	本機のケーブル配線をラジオアンテナコードやフィルムアンテナから遠ざける。

付録

モニター画面について

- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これはLCD画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これはLCD画面特有の現象で故障ではありません。
- LCD画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見えづらい、背景などが写り込むことがあります。故障ではありません。

商標について

- Windows、Windows Media は 米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、OS X は米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc. の商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画 (以下、AVC Video) を記録する場合
 - 2) AVC Video (消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの) を再生する場合

ソフトウェアについて

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社JVCケンウッド(以下、“ライセンサー”)が提供する本体組み込みソフトウェア(以下、“許諾ソフトウェア”)はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの“許諾ソフトウェア”に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この“許諾ソフトウェア”をご使用いただくものと致します。お客様(以下、“使用者”)が“許諾ソフトウェア”を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます“ソフトウェアに関する重要なお知らせ”を必ずご覧ください。

第 1 条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权(第3条第1項に定める例外を除く)を使用者に許諾します。

第 10 条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第 11 条 (輸出規制)

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること(インターネット等を利用した日本国外への送信を含みます) はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国及びアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法及び日本国の法律(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザ、エンドユーザによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます) に従うことに同意するものとします。

第 12 条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

Noto Sans CJK JP
Copyright © 2014, 2015 Adobe Systems Incorporated(<http://www.adobe.com/>).
Noto is a trademark of Google Inc.
適用ライセンス: SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1

源真ゴシック
© 2015 自家製フォント工房
Copyright © 2014, 2015 Adobe Systems Incorporated(<http://www.adobe.com/>), with Reserved Font Name 'Source'. Source is a trademark of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
Copyright (C) 2002-2014 M+ FONTS PROJECT
適用ライセンス: SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1. This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed

and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

主な仕様

メインユニット

電源電圧	DC5.0V (12V 車両用シガープラグコード付属)
録画時消費電流 (最大)	2.0A
測位衛星	GPS
G センサー	0.4G~1.4G : 6段階 (0.2G刻み)
液晶サイズ	10型 (10.4インチ) IPS 液晶
撮影素子	1/2.8 型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平 : 約 143° / 垂直 : 約 76° / 対角 : 約 170°
F 値	F1.9
動作温度範囲	-10℃~+60℃
記録解像度	Full-HD (1920 × 1080) (動画約 207 万画素)
フレームレート	28fps
記録方式	常時録画 / イベント記録 / 手動録画 / 駐車録画 * * 駐車録画は別売りの「CA-DR550」が必要
常時録画ファイル単位	1 分
録画フォーマット (動画)	H.264 (MOV)
録画フォーマット (静止画)	JPEG 準拠 (1920 × 1080)
記録映像再生方法	本体、Windows 標準の Windows Media Player または 専用ビューアーソフト (当社ホームページよりダウンロード)
記録メディア	microSDカード 16GB~128GB 対応 Class 10以上推奨
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 260.6mm/H : 73.6mm/D : 46.1mm
質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含ま ず、microSDカード含む)	428 g
電源ケーブル長	3.5m (シガープラグコード)

バックカメラ

撮像素子	1/2.8 型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平：約 107° / 垂直：約 55° / 対角：約 132°
F 値	F2.0
動作温度範囲	-10℃～+60℃
記録解像度	Full-HD (1920 × 1080) (動画約 207 万画素)
フレームレート	28fps
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 47.8mm / H : 38.0mm / D : 26.0mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ : 最大 60.5mm
質量(重さ) (ブラケット/ケーブル含 まず)	41 g
接続ケーブル長	8.0m (バックカメラ用ケーブル)

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

● システム更新について

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報やアップデート手順は、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/support/car/> をご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHS からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」(→ P.41) または当社ホームページの FAQ を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
- 補修用性能部品の保有期間
この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
 - ・ 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
 - ・ 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
 - ・ 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

- 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です)
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

今すぐ事前Web登録を!

本制度のご利用にはWeb(ホームページ)からの事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または右のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1ヵ月以内のご登録をお願い致します。



交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

無し

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

4万円 (一律)

JDRC ドライブレコーダー協議会 補償金制度担当
お問い合わせ e-mail : info@jdrc.gr.jp

内容

補償金の範囲

- 1 ドライブレコーダーの再購入費用
- 2 SDカード再購入費用
- 3 ドライブレコーダーの撤去費用
- 4 ドライブレコーダーの再設置費用
- 5 交通事故証明書の発行費用
- 6 補償金申請に関する資料及び物品の送付料
- 7 その他、上記に関する諸経費

補償金額

一律4万円

ご加入費用

無料(費用はメーカーが負担します)

補償期間

登録日の翌日より1年間

受取人

本制度に加入しているご本人様となります。(死亡の場合は、法定相続人となります。)

対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故
(追突された場合、車両が盗難された場合、車両が故障された場合は除きます。)

事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- 1 ドライブレコーダー本体
- 2 ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- 3 交通事故証明書(写しでも可)
- 4 レッカー搬送の証明書類
- 5 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- 6 補償金請求書



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHS からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。